

仙台城南高校 入学式

～ 306名の新入生を迎えて ～

4月8日(月) 桜花爛漫、晴れやかな青空の下、本校アリーナ21で入学式を挙行了しました。普通科特別進学コース33名、総合進学コース173名、科学技術科100名、合計306名が真新しい制服に身を包み、高校生として新たな生活をスタートさせました。希望に満ちた明るい笑顔が、とても印象的でした。吹奏楽部の演奏が、入退場の雰囲気を大いに盛り上げてくれました。



学校長式辞 (要旨)



仙台城南高等学校 校長 伊藤 俊

今年に入り日本の経済は明るい兆しを見せています。株価は上がり、企業業績は回復し、賃金上昇も見られます。これは、失われた30年から脱却し、日本経済が再び成長軌道に乗る可能性を示唆しています。

20年後の2044年、社会を支えるのは君たちです。君たちは、この明るい兆しをさらに大きく成長させ、より良い社会を築く責任を担っているのです。

本校のスクールポリシーは、「社会に貢献できる、自立した人間」を育むことです。20年後の社会は、今とは大きく変化しています。人工知能やロボットなどの技術革新が進むことで、様々な仕事や生活様式が変化するでしょう。このような変化を恐れずに、積極的に挑戦し続けることが重要です。求められるのは、新しい知識やスキルを自ら学び続けることです。スクールポリシーである「社会に貢献できる、

自立した人間」を具現化し、自分で考え、自分で行動を起こし、課題を解決できるような力を身に付けてもらい、3年後君たちを送り出します。

さて、渋沢栄一という名前を聞いたことがあるでしょうか。新一万円札に印刷される予定の明治時代の実業家です。日本で最初の銀行を創設した人物です。さらに日本の資本主義の父と呼ばれ、500以上の企業を立ち上げました。日本製紙、東京証券取引所やキリンホールディングスなど創設に携わった企業の多くが、現在でもビジネスの第一線で活躍している企業ばかりです。

一方、「論語と算盤」を著し、経済活動と道徳の融合を図り、実践を重視した起業家でもありました。ただ学んだだけでは不十分であり、学んだことを実践することが極めて重要であることを機会あるごとに述べています。例えば、論語に「学んで思はざれば則ち罔(くら)し」とあります。学んだことを自分で考えなければ、知識は身に付かないということです。城南風に言えば、各教科の授業の内容を頭に詰め込む、インプットだけでは不十分で、自分で考え、まとめて実践してみることが重要だということです。

学んだことを自分の言葉で説明してみる。異なる視点から物事を考えてみる。学んだことを日常生活に活かしてみるなど、インプットだけにとどまらず、アウトプットまで行う城南高校の探究的な学びに積極的に取り組んでいただきたいと思います。

渋沢が生きた時代は、一歩間違えば日本が列強の植民地にされる時代。今の日本も経済の再成長の機会を失えば、先進国から脱落せざるを得ない状況。この似たような時代だからこそ、渋沢の教えが重みを増すのだと思います。学んだことを実践するなど、アウトプットまで行なってください。そして日本の明るい兆しをさらに大きく成長させ、20年後の日本がより豊かなで住みやすい社会の担い手となるような力を身に付けて下さい。



新入生代表宣誓

くまがい るみ

普通科特別進学コース 熊谷 瑠美 さん (愛宕中出身)

新入生を代表して、「本日、入学を許可されました私たち一同は、仙台城南高等学校の教育方針に従い、校訓・校則をよく守り、仙台城南高校の生徒としてその本分を尽くすことを誓います。」と厳粛な雰囲気の中、堂々と宣誓しました。

新入生の抱負

《普通科 特別進学コース》

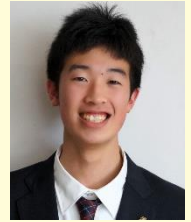
武藤 千晴 さん (西多賀中出身)



私の高校生活での抱負は、勉強に力を入れて、自分の行きたい大学に入学できる学力を身に付けることです。中学校に比べて、登校時間がかかり、授業数が多く、さらに特進コースでは土曜授業もあります。しかし、同じ志を持った仲間と共に、先生方のサポートの下で頑張っていきたいです。そのためには、時間の使い方を考えながら予習・復習にしっかり取り組もうと思います。そして、3年後には目標が叶えられるよう頑張りたいと思います。

《普通科 総合進学コース》

川戸 優 さん (八戸・白銀中出身)



私の高校生活の抱負は、部活動に本気で取り組むことです。青森県の中学校出身ですが、ダンスを本気でやりたいと思って、仙台城南高に入学しました。環境が大きく変わって不安なことが多くありましたが、先生や先輩、同級生に恵まれたお陰で学校生活に少しずつ慣れることができました。ダンス部はみんなダンスが上手だけでなく、一人一人個性があります。自分も先輩たちから吸収して上手になり、最高の3年間を過ごしていきたいと思います。

《普通科 総合進学コース》

宇部 仁菜 さん (富沢中出身)



私の高校生活での抱負は、勉強と部活動の両立を図ることです。私は中学時代、勉強が苦手でした。高校では毎日の授業に集中して取り組みたいと思います。また、部活動では野球部のマネージャーとして活動したいと思っています。選手を支える立場として積極的にサポートし、選手が集中できる環境づくりをしていきたいです。その他にも、基本的な生活習慣や社会生活を送る上でのマナーや礼儀を身に付け、充実した高校3年間を過ごしていきたいです。

《科学技術科》

佐藤 勢波 さん (山田中出身)



私の高校生活の抱負は、毎日勉強し、学んだことを忘れないことです。中学校ではテスト期間だけ勉強するような取組方でした。あまり復習をせず、その場しのぎの勉強をしてきたと思います。人は忘れる生き物です。復習をせず、日々の努力を怠ると、本物の学力は定着しないと気付きました。部活動で忙しくなるかもしれませんが、毎日の復習を欠かさないように努力をして、充実した高校生活を送れるように頑張っていきたいです。

おめでとう ダンス部2度目の全国制覇！

4月14日(日)に行われた「マイナビ HIGH SCHOOL DANCE COMPETITION(通称:マイナビハイダン)」において、本校ダンス部がスモール部門で優勝を果たし、2021年に続き、2度目の優勝という快挙となりました。

この大会は、全国の高校生がストリートダンスのパフォーマンスを競うコンテストで、予選の優勝校が両国国技館に集い、日本一を目指して努力の成果を発揮しました。DANCE@LIVE FINAL(決勝)に出場した10チームの中から本校ダンス部が見事に優勝を勝ち取りました！仙台城南高校を挙げてこの優勝を喜びたいと思います。

ダンス部の皆さん、優勝おめでとうございます！

「優勝した今の思い」 部長 穴井 幸さん

去年のリベンジで今年は絶対優勝したかったので、本当にうれしいです。練習中は、思うようにいかないこともあったり、メンバーの雰囲気あまり良くない時もあったりして、不安もありました。

でも、本番では8人全員が今までで一番良い最高のパフォーマンスをすることができました。曲や振付、構成まですべて自分たちで考えたダンスで優勝できたことが何よりもうれしいです。3年生にとっては次の大会が最後なので、また日本一になれるよう頑張ります



出場メンバー(敬称略 学年・クラス順)

千葉 綺乃(3-4・大沢中) 穴井 幸(3-6・蒲町中)
板橋 杏璃(2-5・田子中) 齋藤 菜々子(2-5・錦ヶ丘中)
目黒 玖玲愛(2-6・北角田中) 高橋 ひより(2-7・名取一中)
小田 紗千(2-8・増田中) 大宮 乃愛(2-11・川崎中)